

広建現場懇談会の実施報告

広建企画調査部

広建現場懇談会は、広建活動の一層の充実を目的に、会員相互の意見交換の場として開催しています。令和6年度は、西地区を1月14日に広島水道事務所において、東地区を1月27日に北部建設事務所において開催し、延べ56人に参加いただきました。

【ブロック別参加人数】

地区名	ブロック名	参加人数
西	西部建設事務所	5人
	西部建設事務所呉支所	2人
	西部建設事務所廿日市支所	4人
	西部建設事務所安芸太田支所	4人
	広島港湾振興事務所	4人
	広島水道事務所	11人
小計		30人
東	西部建設事務所東広島支所	5人
	東部建設事務所	5人
	東部建設事務所三原支所	4人
	北部建設事務所	7人
	北部建設事務所庄原支所	5人
小計		26人
合計		56人

今年度の現場懇談会では、『広建活動のさらなる充実に向けて』と『「仕事のやりがい」を見つめ直す』の2つのテーマを設定し、グループ形式での意見交換を行いました。その概要について、次のとおり報告します。

【はじめに】（会長、開催ブロック所属長）

- ・広島県建設技術協会では、技術力の向上や意識啓発、会員相互の親睦を図ることを目的として、様々な事業に取り組むとともに、社会状況の変化に対応していくため、現場懇談会を東西2地区において開催し、皆さんからの意見を踏まえ、広建活動の改善を行っている。
- ・土木技術職員を取り巻く環境は、近年の厳しい財政状況、多様化する住民ニーズ、想定を超える大規模災害への対応、事業費の減少による組織の縮小等、直面する課題はますます増加している。このような状況にあって広島県建設技術協会の役割や活動の重要性は、益々高まるものと考えられる。
- ・例えば、昨年度の現場懇談会でいただいた意見を参考に今年度は新たにフォトコンテストを開催した。
- ・本日の現場懇談会では、『広建活動のさらなる充実に向けて』と『「仕事のやりがい」を見つめ直す』の2つのテーマで意見交換を行うが、皆さんで議論・情報共有する意義のある機会となるのではないかと考えている。また、自由な発想で、新しいアイデアや新たな取組を提案いただき、より良い広建活動に繋げていきたい。

【意見交換】（主な意見など）

（テーマ1）広建活動のさらなる充実に向けて

（1）テーマ設定

仕事ではできないけど、広建ならできるかもしれないを実現しよう！

（意見交換における視点）

- ・今年度参加した広建活動や活用した広建の制度について紹介
- ・参加して（活用して）お勧めポイントや、改善の余地ありなど
- ・広建活動でこんなことやればいいのか、できればいいのにかを考える
- ・職員の技術力向上、親睦、インフラ等の魅力発信に係る取組であることを念頭に前例にとらわれず、自由な発想で（批判厳禁）

（2）現状や課題

○ソフトボール大会について

- ・小さい事務所だと参加が強制される
- ・身体を使った行事が多いので、身体を使わない交流事業をやってもらいたい
- ・ソフト以外で若手職員の意見交換を行う場がほしい

○助成事業について

- ・助成事業の認知度が低い

○現場見学

- ・大きな現場ではなく、小規模な現場もみたい
- ・他事務所の現場もみたい

○広建 HP

- ・全建研修の報告書を HP に掲載してあるが、HP に掲載しているだけでは閲覧しない

○フォトコンテスト

- ・応募作品の写真などをコンテストだけでなく、他のことにも活用できるのではないか
- ・3人グループが条件だったが応募しづらかった。個人でも応募可能にした方が作品が集まるのではないか

○全体・その他

- ・同期とのつながりがあまりない
- ・全建講習会の応募者がいない
- ・ICT の認知度、理解度が低い

（3）新たなアイデア

○イベント等の追加

- ・ドローンを使った大会（ドローンサッカーなど）
- ・e-スポーツのように、ゲームで交流する
- ・ボーリング大会

- ・同期の担当現場の講習会
- ・毎年枠（カテゴリー）を変えて会を開く（例：社会人採用、女性、工務課等）

○助成事業

- ・年初に広建でどのような助成があるかメール送信してはどうか
（1枚にまとめたパンフレット等あるとさらにわかりやすいのでは）
- ・フィットネス助成がほしい

○広建ホームページ

- ・全建講習会の報告書をコンパクトな冊子で配布してほしい

○フォトコンテスト

- ・写真の有効活用方法を検討してはどうか
- ・応募要件を緩和してはどうか

○講習関係

- ・資格の講習会
- ・会員の資格の取得状況の把握（知っている人が取得していれば聞きやすい）
- ・職場の研修で資格勉強
- ・動画で研修ができるように整備
- ・会検対策の資料整備
- ・ICTの講習会
- ・習熟度別のドローン研修（初・中・上級にわけて）

（テーマ2）「仕事のやりがい」を見つめ直す

（1）テーマ設定の背景

日々仕事をしていると、「何のために仕事をしているのだろう」とネガティブな気持ちになることも自分の仕事の「意義」や「やりがい」を改めて感じることで、仕事に対するモチベーションをアップさせましょう。

（意見交換における視点）

- ・仕事が楽しいと感じた瞬間
- ・個々の違いはもちろん、上司・部下や技師・主査といった立場による違いなども感じながら
- ・全員で、「仕事のやりがい」をもとに、「仕事の魅力」について考えてみる
- ・仕事を通じた社会との繋がり等を考えてみる

（2）広島県土木建築技術職員の「仕事の魅力」とは

- ・形に残るものができる
- ・手厚いサポートがある
- ・職場環境がいい
- ・自分の裁量で仕事ができる

(3) 現状や課題

○コミュニケーションの不足

- ・個人で仕事をしているように感じている

○責任が重い

- ・工事が緻密になり、責任のある仕事をやらなければならない

○仕事のギャップ

- ・地元対応が想像以上に多かった
- ・学校では技術を学んだが、実務は調整が多かった
- ・効率よりも正しさが大事に感じる。業者に対して心苦しい時がある（民間からの転職）
- ・仕事量が多い
- ・覚える基準が多い
- ・予算の種別が多い

(2) 対策

○職場でのコミュニケーション向上

- ・上司からの声掛け
- ・課内、係内でのコミュニケーションをしっかりと行う
- ・係内（課内会議）を積極的に実施する（進捗状況、業務内容共有）
- ・地元対応等も個人で行うのではなく、事務所で対応する

○システム等による改善策

- ・地元対応において参考になる資料作成（事例集の作成やデータベース化等）
- ・AI等を用いたチェックや検索システムを導入

【全体総括】（会長）

- ・活発で忌憚のない意見交換ができ、良かったと思っている。
- ・思ったより個人の業務が多いという意見があったが、管理職側からどんどん声掛けを行わないといけないと感じた。
- ・また、個人の責任が重いという意見もあったが、その理由は各自が年次を重ね、それなりの職位になったということや、公務員に対する目が厳しくなっているということもあるかもしれない。
- ・広建活動に関しても、様々な意見・アイデアをいただいた。広建事務局として、しっかり検討を進めてまいりたい。

【おわりに】

今回の実施報告では、主な意見について掲載しましたが、各地区で行われた現場懇談会では、これ以外にも意欲的な発言が多くあり、大変熱心な意見交換をして頂きました。これらの様々な意見について、今後の広建活動の取組に反映させるなど、引き続き各種事業等の改善に向け、前向きに取り組んでいきます。

最後に、業務多忙にも関わらず、現場懇談会に参加して頂いた方々、参加者を送り出して頂いた各ブロックの皆様、会の進行等に御協力して頂いた広島水道事務所ブロック、北部建設事務所

ブロックの方々に感謝の意を表し、実施報告とさせていただきます。

【現場懇談会の開催状況】

西地区



栢会長挨拶



グループに分かれて意見交換

東地区



意見交換内容を発表



奥野事務局長閉会挨拶